

美しさと哀しみと（1985）

TRISTESSE ET BEAUTE

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 フランス

色彩 Color

時間 100分

初公開日 1987/04/25

公開情報 PARCO=シネマテン

【解説】

彫刻家レア・ウエノ（ランプリング）は、二十年前に別れた小説家ユーゴー（ズラウスキ）と再会した。レアとレズ的關係にある弟子のプルダンス（ルーセル）は、初めは嫉妬を覚えるが、別れた当時の師の悲しみと憎しみを知り復讐を決意する。血の通うガラスのようなランプリングの美しさに加え、ルーセルの若き官能がこのフィルムの魅力。’65年に篠田正浩監督で映画化（因にキャストは八千草薫、加賀まりこ、山村聡）された川端康成の小説の再映画化。話の展開はほぼ原作通り。監督フルーリーはこの作品がデビュー。当初、プルダンス役にはナスターシャ・キンスキーが決まっていたが、直前で降番。

【クレジット】

監督 ジョイ・フルーリー

原作 川端康成

脚本 ジョイ・フルーリー

ピエール・グリエ

撮影 ベルナール・リュティック Bernard Lutic

音楽 ジャン＝クロード・プティ Jean-Claude Petit

出演 シャーロット・ランプリング Charlotte Rampling

ミリアム・ルーセル Myriem Roussel

アンジェイ・ズラウスキー Andrzej Zulawski